

Course number		U-LAS22 20001 SO48					
Course title (and course title in English)		フランス語II A F2101 Intermediate French A		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,MORITA TAKAHIRO	
Group	Languages		Field(Classification)				
Language of instruction	Japanese		Old group	Group C		Number of credits	2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)		Year/semesters	2025・First semester	
Days and periods	Fri.2		Target year	2nd year students or above		Eligible students	For all majors
[Overview and purpose of the course]							
<p>< フランス語学 ></p> <p>1年間のフランス語学習を終えた学生が，実際にフランス語を使って自ら発信することを目的とした中級フランス語の授業である．「辞書さえあればそれなりに読める」状態から，「辞書を使えば言いたいこともそれなりに言える」「耳で聞いてもそれなりに理解できる」ことを目指す．具体的には，個人またはグループでフランス語による発表をしてもらうことになる．ひとまず「発表を行う」としているが，PowerPointを使った単なるプレゼンにとどまるものではなく，履修者の意欲に応じてフランス語を使って映像作品を作成する，芝居をするといったアイデアも歓迎する．会話練習ではないが，フランス語で資料を読み，原稿を書き，口頭で発表することを通して発音に慣れていくという点で，総合的に学習する．</p>							
[Course objectives]							
<ul style="list-style-type: none"> ・初めて見た単語であっても発音できるようになる． ・「見て理解する」「覚えることが学習だ」と考えている状態から，能動的にメッセージを発する発想が身につく． ・音声を使ったインプットやアウトプットが学習に必要であることが理解できる． ・一定サイズのまとまりのある内容をフランス語で発信することができる． 							
[Course schedule and contents]							
<p>以下は予定とする授業計画であり，具体的な授業内容は実際の履修者の人数やレベル，ニーズに合わせて変動する可能性がある．基本的には，授業内は自分たちの作品準備の過程で生じた問題を解決し，発音・聴解面のトレーニングをする場であり，主たる作業は各々が協力して授業以外の場で行うことが求められる．</p> <p>前半は音声学の基礎的知識の理解とその実践，フランス語らしい発音を身につけるための知識と実践にあてる．後半は発表用資料のブラッシュアップにあてる．</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．テーマ決定・作業手順の決定 2．音声学の基礎的知識と実践1：母音の調音 3．音声学の基礎的知識と実践2：子音の調音 4．フランス語で区別する音と日本語で区別されない音 5．音節を感じる練習 6．文の構造とアクセント 7．リズムグループ，イントネーション 							
<div style="text-align: right;">Continue to フランス語II A F2101(2)</div>							

フランス語II A F2101(2)

8～13．原稿準備と口頭練習(作文添削および発音)
14．発表

[Course requirements]

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

[Evaluation methods and policy]

平常点で評価する．授業参加50% (発表準備の進捗状況，授業内活動の取り組み，グループに対する貢献度)，最終作品50%(グループに共通の評価)．

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

授業は問題解決の場であり，実際に作業を進める場合は個人でありグループでの活動だと理解してください．テーマを決めて，自分でフランス語の資料も含めて調査し，自分のフランス語で表現するには自主的に取り組む必要があります．

[Other information (office hours, etc.)]

初級の学習者であっても実践は十分に可能です．勉強したからには少しはできるようになりたい，フランス語を使って何かやってみたいという意欲のある学生を歓迎します．
口頭での表現が目的であるため，必然的に人前でフランス語を話す(発音する)ということが求められます．そのため，「発音よりも難しい文章が読みこなせるようになりたい」「基礎文法の復習がしたい」「できるだけ受動的に座っているだけの授業が好みだ」といった動機を持つ学生には内容が合わない可能性があります．履修当初より音声面が得意であることはまったく必要とはしていませんが，履修可能な内容かどうかは目的と照らして判断してください．

[Essential courses]